



# 給食だより

大分県立茨木支援学校  
平成30年1月25日

寒い日が続いています。体調を崩している人はいませんか？  
一年で一番寒い時期ですから体調に十分気をつけて過ごしましょう。



今年の給食週間のテーマは、「北から南の郷土料理を食べて日本を知ろう！」です。  
大分県では、五年の大雨で家が流されてしまい、今も困っている方が大勢います。  
早くもとの生活に戻れたらいいですね。大分県の郷土料理を食べて復興を応援しましょう。  
今年は、大分県、日本の最北端の北海道、最南端の沖縄県、愛知県、茨木支援学校がある  
大阪府の料理を作ります。

山・海・里の幸に恵まれた日本は、おいしい食べ物や伝統食がたくさんあります。  
色々な地方の郷土料理を食べながら、地方ごとの伝統文化や食文化のを知り、給食の歴史  
をふりかえって、毎日食事ができることに感謝し、楽しく食べて寒い時期をのりこえましょう！

## 学校給食週間

1月24日～30日は全国学校給食週間です。本校では、25日から31日に実施します。  
学校給食は、明治22年(1889)に山形県鶴岡町(今の鶴岡市)の小学校で始まりました。  
当時は貧しい家庭が多く、子どもたちの栄養を改善するためにおにぎりや漬物、焼き魚など  
簡単な食事が提供されていました。給食はその後、全国に広まり、実施されるようになりま  
したが、戦争による食料不足により中止せざるを得なくなってしまいました。  
戦争が終わり、ララ(アジア救済委員会)の支援物資(脱脂粉乳など)により、昭和21年  
12月24日に給食が再開されました。その一か月後の1月24日を給食記念日とし、24日  
からの一週間を全国学校給食週間とすることになりました。

～ 今、学校給食は食育の一環に ～

<明治22年の給食>



<昭和27年給食風景>



食料事情が豊かになると、今度は子どもの肥満や  
生活習慣病の増加、食生活の乱れなどが問題に  
なってきました。それらを改善するために栄養バラ  
ンスを考え、自分に合った食べ方をすることが  
大切になってきました。